

## くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL.13

開催地：多良木町多良木9区の1、2

平成19年6月20日（水）、多良木町多良木9区の1、2において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

牛島公民館にて開催された同報告会には、約30名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	24名
町外	1名

※参加者数は記名者数

### 住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

#### 【河川整備基本方針の説明について】

- ・人吉の中川原公園を撤去すれば7,000 m<sup>3</sup>/sはスムーズに流れるのではないかな。
- ・1/80というのは具体的に降雨でいうと何百mmなのか。
- ・基本高水流量と計画高水流量との差の3,000 m<sup>3</sup>/sについて、国は五木村の説明会などではダムが最適だろうと言っている。対策はダムしかないということをきちんと説明すべき。

#### 【球磨川の治水対策について】

- ・林業が機械化され林道を造るようになったことについて、どう考えているのか。山を削って林道を造るよりも、昔のようにワイヤーを張って搬出した方がよいのではないかな。国交省と林野庁がお互いに研究し合って洪水の対策などをすればよい。
- ・河川敷内に竹藪や葦がたくさん生えている。これらを撤去すればもう少し水がよく流れるのではないかな。
- ・土砂を取ってもまた同じ場所に土砂がたまってしまう。
- ・市房ダムの土砂堆積について、想定と比べて現在どれ位貯まっているのか。また、ダムの寿命はあとどれ位か。
- ・王宮神社の側の橋に下流200mにわたった土砂が貯まり高敷になっている。どうにかしてもらえないか。この辺りは川の中の半分程度しか水が流れない状態となっており、数年前それが影響で避難したことがある。
- ・中鶴橋と王宮橋の間は、昔は護岸工も脆弱で水はねみみたいなものを造ってあり、それにより河川の中心に流心が向くようになっていたが、護岸が出来てそれが無くなってからはこの地区の方に川の流れが寄るようになってしまっている。この辺りの形態を変えてみてはどうか。
- ・昔の取水堰を取り壊した際の殻が川の中に残っているので取り除いて欲しい。
- ・2年位前の水害時にこの下鶴地区の人達は町民体育館に避難したことがあった。その時は、あと2時間ぐらい雨が降り続いたら市房ダムから水が溢れるという心配があった。市房ダムが溢れたらこの地区はどうなるのか。
- ・ダムを前提に河川整備をするとダムのカット量を見込むため、下流の治水対策がおろそかになる。
- ・ダムから水が溢れたときに堤防決壊に至らないために、上流で遊水地等の対策はないのか。
- ・人吉が水害にあったときは市房ダムの放流が原因だった。

#### 【球磨川の環境について】

- ・里ノ城大橋の上流は昔は大変きれいなところだった。今も子供達が川で遊んでいるが、そこに行く途中に竹藪が繁茂している。国交省としてそのまま放置するのか。親水公園にするような計画はないのか。
- ・昔の球磨川には、今のものとは構造が違うが所々堰があった。堰があったときは、葦原が中心に茂っているようなことはなかった。牛島にも堰があったが、それが無くなったことで地形が変わった。堰を造ることは環境的にも良いことではないかと思う。
- ・昨年の水質悪化の原因は何か。
- ・昨年の球磨川の濁りの長期化は、市房ダムがダム湖の上の方からでなく濁りの多い下の方から放流したことで、中の汚泥と一緒に流れたことが原因だと聞いたが、実態はどうなのか。

- ・ 球磨川は昔はメダカやドジョウがたくさんいる本当にきれいな川だった。S30 年代にダムが出来るまでは瀬が腰くらいまでの深さあったが、今では少ないときは膝下位までであり、長靴を履いて渡れる程度しかない。
- ・ ダムのせいだとは言わないが、山の伐採などで水にも栄養が無くなり、メダカ・ドジョウ・ウナギがいなくなったのではないか。
- ・ 灌漑用水路にはダムのおかげで年中水がくるが、本来の川には水が無い。
- ・ この辺りにあるのはツクシイバラではなくシロバラである。ツクシイバラだと思って除草の時にあえて残したのかもしれないが、取った方がよいのではないか。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

